

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの語源です。

議会だより

第74号

2014年2月5日発行

12月定例会

一般質問に6議員が登壇 ⑤～⑩

議長年頭あいさつ ②

こんなことが決まりました ③～④

決算審査Q & A ⑪～⑫

常任委員会道外視察報告 ⑬～⑭

行政報告・Topic議会 ⑮～⑯

意見書 ⑰

町民インタビュー～聞かせて～ ⑱



▲東山スキー場 ～ 町内公共施設の利用者シリーズ ～

新春を迎えて

和寒町議会議長 塚崎 正

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

町民の皆様におかれましては、平成二十六年の新春を、ご家族お揃いでお迎えできましたことに、心からお慶びを申し上げます。

また、日頃から議会活動にご理解とご協力をおいただき、議員一同、深く感謝を致しております。

昨年を振り返りますと、基幹産業の農業においては、夏にかけての雨不足や局地的な集中豪雨に見舞われるなど、収量や品質への影響を心配しておりましたが、概ね平年並みの作柄となったと聞き、市場価格も安定的な推移を見せており、ひとまず安堵しているところでございます。しかし、T P P交渉や米の生産調整見直しなど、農家経済は極めて厳しいものと憂慮しているところであります。

商工業においては、「わっさむ活活（いきいき）商品券」が発行されており、町民の皆様の生活安定と、地元消費による地域経済の活性化につながることを期待しております。

「アベノミクス」により景気は上向きとされておりますが、本町ではなかなか実感が出来ない中、この4月からは消費税が8%に引き上げられることになり、家庭や経済にとって、大きな打撃を受けることが懸念されております。

社会がめまぐるしく変化する中で、町民各位にとりまして大変厳しい状況ではあります。議員一丸となって、少子高齢化や福祉、教育、産業の振興、生活環境整備の推進などに努めてまいります。

最後になりましたが、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新春のご挨拶と致します。

本年もよろしくお願い申し上げます



議長 塚崎 正
副議長 中原 浩一

総務福祉常任委員会

委員長 兼丸 昇
副委員長 中道眞佐義
委員 塚崎 正
委員 虹川 政義
委員 下條 美恵

産業教育常任委員会

委員長 佐々木 広行
副委員長 金谷 浩幸
委員 中原 浩一
委員 酒向 勤
委員 石田 利美

議会運営委員会

委員長 酒向 勤
副委員長 虹川 政義
委員 中原 浩一
委員 中道眞佐義

議会広報委員会

委員長 中道眞佐義
副委員長 下條 美恵
委員 酒向 勤
委員 石田 利美
委員 金谷 浩幸

議会選出監査委員

石田 利美

イベント広場「ふれあいのもり」 設置条例を制定

12月定例議会のあらまし

12月定例議会（第4回定例会）は、平成25年12月19日から20日にかけて開催されました。
19日は、町長の行政報告のあと、一般質問を行い6人の議員が登壇し、行政に対する質問をしました。
20日は、条例制定や補正予算などの議案審議の他、

平成24年度決算の審査報告や常任委員会の報告等も行なわれました。また、請願を付託、意見書4本を可決し、閉会しました。
なお、今定例会の傍聴者は35名でした。

補正予算

各会計の主な増減は次ページの別表のとおりです。

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

福祉灯油等購入助成として、平成25年度分の町民税非課税世帯に対する補助費の増額。

加藤大平選手のソチ五輪出場にあたっての応援団派遣に対する補助費の増額。

その他システム改修の費用や事業費の精算に伴う返還金等により、全体で約1985万円の増額補正を可決しました。

【国民健康保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

過年度の療養給付費等負担金の精算に伴う返還金と人件費の整理による増額補正を可決しました。

【公共下水道事業特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

人件費の整理及び工事の執行残による減額補正を可決しました。

条例など

【地域資源活用交流施設設置条例の制定】

（全員賛成可決）

地域資源を活用した交

【暴力団排除の推進に関する条例の制定】

（全員賛成可決）

暴力団排除の推進に関する基本理念を定め、町と町民等が一体となって安全で安心な生活を確保し、地域経済活動の健全な発展に寄与するための条例を制定しました。

人事

【人権擁護委員候補者の推薦】

（全員賛成同意）

人権擁護委員の推薦にあたり、荒瀬龍男氏（西町）が適任者と決定しました。

人権擁護委員は人権相談や人権思想の啓発活動を行うもので、任期は3年です。



荒瀬 龍男 氏

(別表)

※ 1万円未満切り捨て表記

会 計 別	補正前の額	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	43億6589万円	1985万円	43億8574万円
主な増減内容	○福祉灯油等購入助成事業 415万円 ○障がい者自立支援給付費国庫負担金等返還金 367万円 ○わっさお健やかこども医療費 196万円 ○圃場管理システム更新業務委託 134万円 ○ソチ五輪応援団派遣補助 523万円		
国民健康保険特別会計	6億4732万円	491万円	6億5223万円
増減内容	○療養給付費等負担金過年度分返還金、人件費の整理		
公共下水道事業特別会計	1億6289万円	△ 91万円	1億6197万円
増減内容	○入札執行の残、人件費の整理		

審査報告

佐々木広行決算審査特別委員長から委員会審査の報告がなされ、採決の結果、一般会計、5特別会計、病院事業会計がそれぞれ賛成多数で認定されました。

決算審査特別委員会の内容は、11～12ページの「決算審査Q&A」をご覧ください。

報告

【常任委員会所管事務調査の報告】

両常任委員会が行なった道外視察（平成25年11月25日から28日）の所管事務調査報告がされました。

報告内容は、13～14ページの「常任委員会道外視察報告」をご覧ください。

請願

【カントリーエレベーター大規模改修について】

北ひびき農業協同組合代表理事組合長佐久間富雄氏より、平成13年から操業開始しているカントリーエレベーターの機械更新に伴う予算確保のため、目的基金の使用と農家負担軽減策の支援についての請願書が提出され、産業教育常任委員会に付託し、審査することとなりました。



▲カントリーエレベーター

次回の定例会は 3月 です。 議会を傍聴してみませんか？

議会の傍聴は、傍聴者受付簿にお名前と住所を記入していただくだけで、面倒な手続きは必要なく、どなたでも傍聴できます。

皆様の暮らしや、より良い町づくりを議会とともに考えてみませんか？みなさんのお越しをお待ちしております。

詳しくは議会事務局へ TEL32-2436

兼丸昇議員



問 町職員の病気・早期退職者の原因と対策は

答 精神面の健康管理で職員教育を

問 旧和寒高等学校の顕彰板設置を

答 現和寒中学校敷地内に設置検討

病気休職、
早期退職の実態は

町職員の病気休職者、早期退職者が非常に多く町民もこの異常さに疑問と心配をしている。過去10年間の動向と原因、そして対策は。

伊藤町長

昨年までの過去10年間の動向は、退職者は85名で、うち定年退職者が半数の42名、芳生苑指定管理移行等による免職9名、残る34名が自己都合退職であり、その理由は、寿退職や家庭の事情によるもの、他、理事者への登用や勸奨退職となっている。またこの10年間で、3カ月以上の療養を要し、休職処分となった5名のうち精神疾患は2名で、休職処分とならないまでも疾病により療養休暇を取得する職員が増えている。そのうち精神疾患を理由とする割合が増えている。

とする割合が増えている。

要因と考えられるのは、職務の高度化・複雑化、また多様なニーズに 대응していく責任の重さなどが挙げられており、果たすべき責任の重さを感じ、ある意味ストレスを抱え込み発症することが多いと考えられる。

本町においては、各職場の長や保健指導により心の病を発症させないよう相談対応に注意を払い、メンタルヘルスケアに取り組んでいる。今後とも職員の健康管理に万全を期す。

○再質問

答 弁からして現代のIT化の影響から当然と考えるむきもあるが、他の町村と比較して当町の状況をどう捉えているか。

町民は町長、理事者の叱責も大きな要因と言うがどう考えるか。

安孫子副町長

過去にも外科的、内科的病気により療養されている者もおられることから、特に増加傾向にあるとは認識していない。

また職員への叱責等の影響も真摯に反省をしながら職場環境の改善、人と人との関係、上下関係をしっかりと築いていきたい。

辻総務課長

上川管内でも1、2名、精神的障害で療養されている町村が5町村あると報告を受けている。

また病気療養の対応として職場長、保健師とも相談、職場復帰支援プログラムという要綱を定め副町長以下産業医、保健師、関係者等で職場復帰に向けて努めている。

○再質問

新規採用者がほとんど町外出身職員と言え

る。

行政効率が悪いことから職場環境作りと、仕事上の指導は。

辻総務課長

職員採用も町村会での一次試験となり、出来る限り、名前、顔を早期に覚えていただくよう、自治会活動、諸団体活動参加を積極的にと指導している。

○再質問

人間は気持ちよく仕事ができるかどうかで成果が大きく違う。職場の環境作りに一層の努力改善を願いたい。

和寒高校の偉業を
後世へ

昭和25年永山農業高等学校分校、昭和27年町立北海道和寒高等学校として独立、昭和42年道立へ移管となるが、平成22年閉校となり残

念である。

旧校舎は和寒中学校として引き継がれているが、敷地の一角に和寒高等学校の歴史を刻んだ顕彰板の設置を。

星教育長

和寒町内の学校の閉校に伴い、長く刻まれた学校の歴史をどのように保存していくか検討してきた。

和寒高等学校の旧正門の校舎東側に校訓の「誠実・勤労・剛健」の3本の柱の移設も含め、14線と大通りの角が良いと考え、今後関係者と協議の上、設置の方向で進めたい。



▲現和寒中学校

問 チップ燃料を使い屋内パークゴルフ場を建設しては

答 多くの課題について調査研究し取り組んでいく



石田利美議員

問 和寒町の農業振興対策について

答 和寒町農業高度活性化の再構築はしない

冬場の運動の場を検討しては

青少年会館跡地に、パイプハウスの屋内パークゴルフ場を建設し、多くの愛好者の冬場のスポーツとして、また、町民の健康増進・雇用の場・跡地利用・暖房にチップボイラーと、屋内パークゴルフ場の建設は多角的にメリツトがあり前向きに検討しては。

星教育長

上川管内に4ヶ所の屋内パークゴルフ場があり、いずれも設置運営は民間企業で、旭川市や近郊からの利用度が高いようである。

冬期間の体力維持増進を図るため、屋内でできれば良いということとは十分理解できるが、建設費、運営管理費、場所、必要面積、通年雇用、費用対効果など課題が多く、チップボ

イラーや太陽光発電の活用も含め、調査研究に取り組んでいきたい。

○再質問

青少年会館跡地の今後の活用の考えはあるのか。

伊藤町長

屋内パークゴルフ場は、冬期間における運動不足の解消、体力の

維持向上という面からも素晴らしい発想だと思っている。

青少年会館跡地については具体的な計画は持っていないが、福祉面の活用方法であるとか、他に郷土資料館の整備構想を進めており、今の場所以外の所に建設することになれば候補地になり得ると考えている。



▲屋内パークゴルフ場（イメージ）

農業高度活性化事業の再構築は

平成21年まで行われていた和寒町農業高度活性化事業を再構築することにより、農家の経営費削減と農家の担い手の夢の実現につながると思うが、考えは。

伊藤町長

平成2年から21年までの20年間にわたり農業施設や機械導入に対して補助を行ってきた。この間、共同利用の促進や規模拡大、近代化への支援等で一定の役割は果たしたと考えている。

一方では、機械導入等で高額な設備機械を導入し、過剰投資につながるということでの廃止をした。

制度廃止に伴って、例えば土地改良事業に対する支援、土地基盤事業に対する支援、土づくりについてはバ

ークを製造販売している。

また、活性化センターにおける土壌診断についても無料で農家の方々の便宜を図っている。

○再質問

割りと外の話を聞かない町長なのではないか。

伊藤町長

農業振興対策協議会等々、色々な機関で話を伺い、農業政策はどうあるべきか私なりに考え、相談すべきところは相談し進めてきた。行政で一人歩きしているという思いはない。

もし、そういう点が不足しているなら、真摯に反省し、今後農業者の意見を聞いて、取り入れながら政策をしていかなければならないという思いがある。

下條美恵議員



問 移住体験事業の経過と今後の対応は

答 今後広く意見を伺う組織を視野に入れ事業を進めていく

問 町の男女共同参画推進条例及び基本計画の策定は

答 近隣市町村と歩調を合わせ、連携を図りながら取り組んでいく

移住体験事業の経過と今後の対応は

平成19年度から実施している移住体験事業に対して、これまでの問い合わせ件数、参加人数などの経過と、今後の改善点・課題はどのように考えているのか。

伊藤町長

問い合わせ件数は34件で、うち9件、16名の方が利用された。本年度は3件、6名の方が利用され、体験後のアンケートにお答えいただき、和寒の自然や人、交通の便や居住環境について一定の評価をいただいている。

北海道でも移住促進に向けて活動を進めており、今後このような機関、団体と連携を図ると共に、農村体験交流施設エコテージを核として、町の地域資源を活用した交流体験

プログラムなどを実施し、和寒の素晴らしさを感じ取っていただき、移住定住に結び付けていただければと思っています。

○再質問

NPO法人「住んでみたい北海道推進協議会」の調べでは、平成23年度、北海道で暮らしを体験した方は、712組1517人、平均滞在日数26・7日とされている。和寒町での利用者の平均滞在日数と、今後の課題について具体的に思うことは。

辻総務課長

滞在日数は、最大60日、平均一週間から10日の利用となっている。

伊藤町長

この体験事業で来られる方はほとんどが夏場であり、冬の経験がないということで、定

住に結びつかない要因と考える。今後冬場の体験を設けていく必要がある。

○再質問

短期間で体験いただく中では、町民の皆さんのサポートも必要になってくる。移住推進協議会などの発足の考えは。

安孫子副町長

推進協議会の役割をどう捉えるかが問題になろうかと思うが、行政だけではこの事業は進まない。



色々な方たちで町民の皆さんのサポートが無ければ、町の魅力を知っていただくことにはつながらない。今後広く意見を伺う組織を視野に入れ事業を進めていく。

町の男女共同参画推進条例及び基本計画の策定は

平成11年6月、国の『男女共同参画基本法』が施行されたことを受け、平成13年3月『北海道男女平等参画推進条例』が公布された。その後、各市町村で条例と基本計画が策定されている。

男女が認め合い、支え合い、尊重し合う調和のとれた社会形成と、男女がその個性と能力を発揮し、あらゆる分野で活躍できる環境づくりを考えたとき、町の条例、基本計画を策定する考えは。

伊藤町長

全道179市町村の中で、18市町村が条例を制定し、39市町村が男女共同参画に関わる何らかの計画を策定している。

上川管内では旭川市と士別市以外は条例を制定してあらず、計画も4市を除く全19町村が策定していない現状であるが、近隣市町村と歩調を合わせ、連携を図りながら「男女が社会のあらゆる分野で活動する機会が確保され、様々な利益を享受しながら共に責任を担う社会」の実現に向けて取り組んでいく。



金谷浩幸議員



問 老朽農業施設の維持管理に対する支援を 答 農業生産の基盤に対し今後も支援

農業者負担の
軽減対策は

用排水路等の維持管理は概ね、てしおがわ土地改良区が行っている現状であるが、補修など、維持管理は各地区（合併前9地区）で行っている。

近年、建設してから30年を超える施設が増え、老朽化や自然災害による破損等により補修工事箇所が増えているが、金銭的な面から需要に供給が間に合わ



▲自然災害による破損（剣和幹線）

ない状況である。

今後予想される、全長42キロメートルにわたる水路の大動脈である剣和幹線用水路の補修工事は巨額の工事費が想定されており、営事業化を目指しているが、いずれにしても地元負担も大変大きなものになることから、農家負担軽減に対する支援の考えはあるか。

伊藤町長

土地改良事業については、これまで色んな

暗渠事業、それ以外に農家の方々にとって必要不可欠な用水路、今進めているのは第一幹線用水路、これも5年間で約10億の事業費がかかるということで、農業者、受益者負担というものについて3%を町が軽減策を取っている。

さらには土地基盤整備事業についても、パワースアップ事業ですつと和寒町はやってきた。現在もなお800ヘクタールほどの要望があり、この暗渠排水事業等についても、政権が変わって5000億の土地改良事業予算が2000億になつてしまったということもあり、新たな制度が確立され、その制度に乗って、現在100ヘクタールほど完了したが、まだ700ヘクタールぐらい残っているということとで、これについても農家の皆さんに対し0・



▲暗渠工事

5%の軽減策を取って、経営の改善等々に役立つよう進めている。

農業生産の基盤というものは土であり、土地改良であり、暗渠排水などの基盤の整備だということふうに思っていることから、その基盤となるべきものに対してできるだけ農家の方々の費用負担軽減を、農業政策の中心にしながら考えていく。

○再質問

改良区の賦課金には経常賦課金、維持管理賦課金、特別賦課金、平準化賦課金の4種類がある。

このうち維持管理賦課金が、その維持管理補修等を賄う賦課金にあたる。

これが、自然災害による被害が多発し早い対応が求められる中で、当初計画していたものが後に回され、もう少し自分たちの予算に余裕があれば、緩和できると思う。そういったことから、賦課金の上昇も今後考えられるが、これらに対する支援の考えは。

伊藤町長

基盤的なものというのは、農業経営の根幹に関わってくるもの、これらの施設が機能しないと農業経営もままならない。

土地の基盤となるべきものへの支援は、これまで同様に、さらに必要なものがあれば、支援をすべきものは支援をしていくべきと考えている。

佐々木広行議員



問 伊藤町政3期に向けては

答 今までよせられた意見、要望に真摯に向き合い、
「元気なまち和寒町」の実現のため取り組む

伊藤町政3期に
向けては

伊藤町政2期までは、
本町のために色々な形
でチャレンジをしてき
た。特に農業振興関係
ではシカ対策の有害鳥
獣施設関係・旧中学校
跡地のグラウンド活用
により誘致の取組・農
体験交流施設の取組・
太陽光発電の取組・暗
渠事業・ペポナツの
起業化支援などである。
商工業の振興では、
民間による賃貸住宅・
木質バイオマスの熱源
供給施設・起業化支援
で塩狩ユースホステル
である。

住民の福祉関係では、
プレミアム商品券の取
組・福祉灯油の購入助
成・各種予防対策の助
成さらにはバリアフリ
ー化の歩道・デマンド
方式の実施試行もされ
た。

学校教育関係振興に
あたっては、耐震性が

ら小学校の改修、中学
校の移転など数多く実
施してきた経緯があ
るが評価もあり批判も
ある。

3期目は町長の集大
成であり町民の声に
応えなければならない。
今まで行われた町政
懇談会での町民の声、
議員の一般発言、職員
の提案など今後の施策
に取り入れてはどうか。

伊藤町長

平成18年1月の町長
選挙に初当選のあり、
町民の方々と約束し
ている「元気なまち和
寒町」の実現のため、
これまで粉骨砕身取り
組んできた。

今まで、寄せられた
意見や要望に真摯に向
かい合い、自治基本条
例の基本理念である
「協働によるまちづく
り」を進めてきた。
行政運営にあたって
は常に公平公正を旨と
して、その職責に努め

てきた。

「3期目に向けて」
の質問については、今
回審判を受ける身で、
施策など細かなものを
述べる選挙法に抵触
するということもあり、
ご理解を願いたい。

概念的には、「町が
元気でなければならな
い」その為には町民一
人一人が「元気になる
ようなまちづくり」と
「生きがいや励みを持
つてこの町で暮らして
いける」こと、更には
「この町で住んで良
かった」と実感のでき
るまちづくりが使命で
あると思っている。

今日、一般質問で色
々ご提言あったことは、
真摯に向き合って財源
の許す限り取り組んで
いく。

○再質問

今年実施された木質
バイオマスの関係につ
いては、初年度が40
0トンであるが、容量



▲年間800トンの生産が可能

は800トンできる事
になっている。

まだ道半ばであるが
採算の取れるものであ
れば、恵みのホール・
活性化センター・加工
センター・温水プール
・室内パークも総合的
に検討してみる必要は
あるのではないか。

伊藤町長

木質バイオマスエネ
ルギーについては、製
造能力800トンある
ことから公民館・活性
化センター・プール・

総合体育館・研修館
「楡」もあり、これら
の施設を全て木質チッ
プにすると年間800

トンで大体消費できる
こととなっている。

実現するためにはボ
イラーの設置年度、耐
用年数など総合的に勘
案していかなければな
らない。

原料の確保は町有林
の除間伐材であり、継
続するには民有林、国
有林も必要であること
から、関係機関に協力
願わなければならない。

○再質問

木質バイオオの利用で
室内パーク場について
取組はできないか。

星教育長

木質バイオオを使用
の室内パーク場は器機
が高額であり調査研究
していく。

管内の室内パーク場
も現地調査をする。

問 人口減を食い止める対策は**答 財政規律を見極めないと簡単でない****問 消費税の公共料金への転嫁は****答 一年間は見合わせる****問 地域経済循環型事業の推進を****答 アドバイザーの意見も参考に推進が必要**

虻川政義議員

過疎化対策は
どうするのか

過疎化する和寒町を
これ以上進行させない
ための対策について、
町長の考えは。

伊藤町長

人口の減少をいかに
少なく止めるかという
ことが今出来ること
だろうと思っており、
後継者・担い手の方の
育成対策、移住・定住
への対策、この移住・
定住の中では若い方々
にも是非この町に来て
いただきたい。そうい
う意味では起業化の支
援である。

一人でも多くの方に
和寒町に来て暮らして
いただくことを考えて、
人口減対策に取り組ん
でいきたい。

○再質問

和寒町の地の利を生
かした施策で、例えば
子育て支援を充実させ

る上で、保育料を無料
にする考え方がある。

子育ての環境も良いし
住みやすいところだと、
一人でも多く和寒に住
んでもらう方法の一つ
の考え方としてはどう
か。

伊藤町長

財政規律ということ
を見極めなければ、そ
ういう政策というのは
簡単にはできないとい
うふうに思っている。

消費税増税分の
影響は

消費税増税分の影響
について聞きたい。

4月実施の消費税3
%増税は住民生活のあ
らゆる面で暮らしを
圧迫する。

国の考え方は、8兆
円もの大増税を国民に
課すことになるが、そ
のことが景気を悪化さ
せる一方で、景気対策
として6兆円もばらま

くことで、経済対策、
財政政策として日本の
経済を深刻な事態に陥
らせると考えるが、消
費税3%増税について
町長の所見を聞きたい。

次に消費税による地
方消費税交付金の増収
も見込まれる。25年度
当初予算額をベースに
して積算した場合の増
税による影響額はどの
程度の金額か。

もう一つはこの消費
税増税により、自治体
も増税による歳出増が
見込まれると推測する
が、25年度当初予算額
をベースで積算した場
合の増税による影響は
どの程度の金額になる
か。

最後に、バス料金や
水道使用料などでは、
交通弱者や低所得者へ
の影響を極力低減する
努力が行政として求め
られると思うので、考
え方を聞きたい。

伊藤町長

25年度当初予算ペー
スで、全会計で歳入を
試算すると地方消費税
交付金については25
00万程度増額になる
見込みである。

一方歳出だが、全会
計で5390万円の支
出の増と見込んでいる。
使用料、手数料など
公共料金に転嫁をする
のかしないのかについ
ては、一年間は見合わ
せるということになっ
てくる。

地域経済循環型
事業の推進は

本町は豊かな森林と
循環型地域づくりを目
指して3つの目標「①

CO2の削減、②森林
整備、③循環型地域づ
くり」を掲げたと思う。

地域密着型の自然エ
ネルギーを地域からつ
くり上げ、地域産業と
の関連のもとにエネル
ギーの地産地消を図り、

地域づくり、雇用の拡
大に結合し地域経済循
環を広げていくとの基
本の考え方をどうして
いくかということが課
題だと思われる。今日
の状況について聞きた
い。

伊藤町長

総務省がイメージし
ているエネルギーの確
保あるいは展開という
ことについて研究をし
ていきたいと考え、同
時にアドバイザーにつ
いても、活用が可能で
あれば、意見を参考に
させていただき、推進
を図っていかなければ
ならないと考えている。



▲森林整備（間伐作業）

～住みよい町づくりに願いをこめて～
決算審査特別委員会報告

平成24年度の一般会計、5 特別会計、病院事業会計の決算は、平成25年11月13日～14日の2日間にわたり、議長と議会選出監査委員を除く8名で構成された決算審査特別委員会（佐々木広行委員長・下條美恵副委員長）で慎重に審議されました。

町民の生活に直接関係する事業の決算だけに、委員各位から活発な質疑があり、会計ごとに討論を行い、採決の結果、各会計とも賛成多数で認定すべきものと決定しました。

平成24年度 各会計決算状況

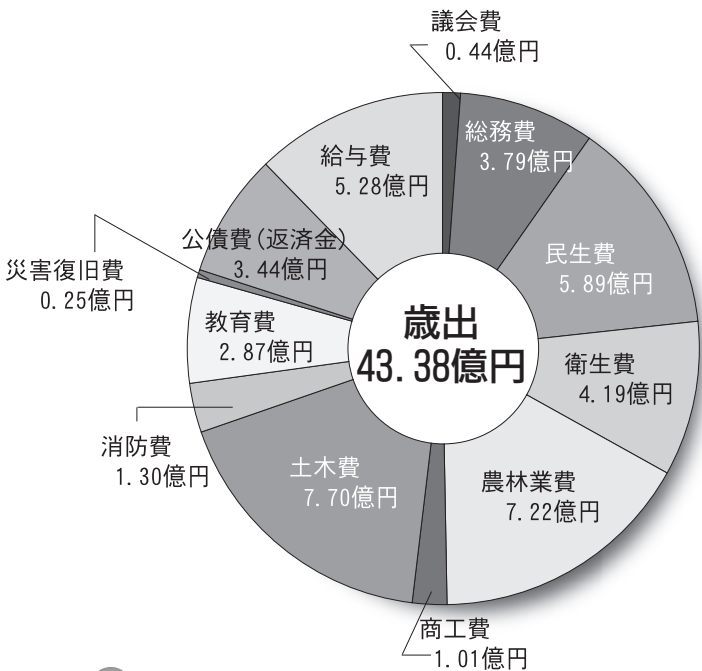
※ 1万円未満切り捨て表記

会計別		予算額	収入額	支出額	差引残額
一 般 会 計		50億4118万円	46億 636万円	43億3793万円	2億6843万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		6億5706万円	6億8103万円	6億4100万円	4002万円
簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計		7591万円	7726万円	7158万円	568万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計		1億8303万円	1億8385万円	1億8047万円	337万円
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		5912万円	5908万円	5577万円	331万円
介護保険 特別会計	保 険 事 業 勘 定	5億1441万円	4億9135万円	4億8246万円	888万円
	介護サービス事業勘定	2067万円	2434万円	2055万円	379万円
合 計		65億5140万円	61億2330万円	57億8978万円	3億3351万円

注：切り捨て表示をしているため、計算した場合と表記の数字とは異なる場合があります。

町 立 和 寒 病 院 事 業 会 計	収益的収入	4億4300万円	収益的支出	4億4493万円
	資本的収入	1314万円	資本的支出	4493万円

一 般 会 計



町民 1 人当たり
約 113万8000円

議会費	1万1617円	1.02%
総務費	9万9487円	8.74%
民生費	15万4562円	13.58%
衛生費	10万9959円	9.66%
農林業費	18万9399円	16.65%
商工費	2万6534円	2.33%
土木費	20万1901円	17.74%
消防費	3万4144円	3.00%
教育費	7万5346円	6.62%
災害復旧費	6428円	0.57%
公債費	9万 164円	7.92%
給与費	13万8426円	12.17%

決算審査

Q & A

QA 法務報償の内訳は、公平委員会の審査終了による報酬金と弁護士の出張費用、他に専門医に対する意見照会の謝礼となっている。

Q 全国的に官制フーキングプアなどが問題視されているが、清掃や警備等の委託先の人件費はどのようになっているか。

A 見積りに積算などは出されておらず、報告ももらっていない。積算根拠を出してもらい、精査した中で業務委託に反映したい。

Q 空き住宅調査委託は専門の方への委託か。

A 町内業者をお願いしている。パソコンが使用でき、地図作成できれば可能な業務内容。

Q 公営住宅の除雪で、若い方が高齢者の間に居住していると、除雪が行き届かない面がある。いろいろな場面で公平感を失われないようなサービス提供を。

A 民生委員等から連絡を受け、隣人を説得し、除雪していただいている。



Q バーク原材料費で、歩止まりと在庫は。利用の要求に応えられているのか。

A 歩止まりは9割程度で、在庫は2350㎡ほど。要求には応えられている。

Q 施設栽培をしたいなど新規就農を希望している者もいる。相談体制はどうなっているか。

A 今年から研修生の意向もあり、町の制度や国の制度資金等の勉強会を開催していただいた。その他研修の情報提供に努めていきたい。

Q 塩狩温泉跡地は、後始末を町としてどのように考えているか。

A 和寒町の入口に廃屋があるのは見た目悪い。所有者の家族は本町にいる。現地を見てひどい状況は理解されている。町として、周辺の環境整備をする必要がある。

Q 道路愛護組合で草刈実施しているが、法面で危険な箇所もあるが組合で実施してもらうのか。農業委員会建議書にも項目としてあるので配慮してほしい。

A 次年度から聞き取り

を行い、危険箇所は町が実施するか検討したい。

Q 大通り商店街排雪補助は戸数も減り、高齢者が負担金に苦しんでいると聞いている。町がもっと支援していく構えがあるのか。

A 経費が上がることから4組合代表と打ち合わせをしている。極力抑えた中で組合員が負担に耐えられる形で進められるよう調整をしている。

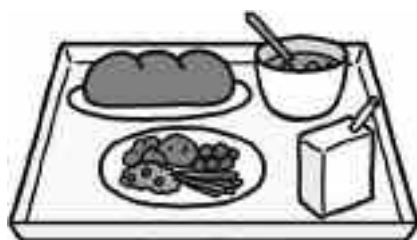
Q 下水道への洪水時の雨水流入は、改善されたのか。その結果どのくらい防げるようになったのか。

A 25年度事業になるが、破損箇所を順次補修している。結果を数字で出すのは難しいが、目に見えている侵入水を防止している。

Q 給食の児童・生徒のアレルギー対応は。

A 就学前のアンケート調査を実施。途中で何かあれば保護者から連絡をいただくようにしている。

メニュー表を各家庭に配布し、保護者が確認の上、副食として持たすこともある。



QA 救急救命士の体制は。本年度救命士を1名採用し、職員1名が養成所で研修中。24時間運用には最低4名以上の救命士が必要のため、理事者とも相談し進めたい。

視察レポート

保養センター 目指すべきは「憩える場」

総務福祉
常任委員会

テーマ 保養センター

視察地 岐阜県—美濃加茂市^{みのかも}、各務原市^{かかみがはら}、関市^{せき}

「日本昭和村」 昭和銭湯里山の湯

はどんなところ

昭和30年代の里山の風景を再現して、平成15年につくられた。

園内には木造校舎や遊具、万華鏡作り・陶芸教室・そば打ちなど体験事業も充実しており、茶畑や桑畑などが広がる。敷地面積約84ヘクタール、岐阜県が整備し平成25年4月より指定管理制度に基づき企業5社が共同で管理・運営を行っている。里山の湯は、里山を望む露天風呂、タイル画の富士山など昔懐かしい昭和の銭湯の風情を楽しめる。昭和村の入場門より前にあるため、入浴を楽しむだけでもよし、昭和村に入園した後利用するもよしと利用方法はさまざま。無料で足湯も楽しめる。

「川島会館」

はどんなところ

昭和56年から58年の3カ年事業として旧川島町で建設した。

『防衛施設庁』『文化庁』『通産省』の補助金を受け、高齢者の健康増進・教養の向上及びレクリエーションの便宜を図る老人福祉センター、郷土の歴史・地理・自然及び民族に対する認識を高め市民のふるさと意識高揚を図る歴史民族資料館、教育の向上を図る図書館の機能を持つ複合施設。平成24年度より施設の維持管理を民間法人に委



▲川島会館（展望浴場）の視察

託。民間法人の優れた技術能力を活用し、経費の節減、サービスの向上を図り、利用者から評価を得ている。

「倉知温泉マージョの湯」

はどんなところ

関市初の本質ペレットボイラーを導入し平成22年7月オープンした。

開放的な露天風呂や人工炭酸泉など13種類のお風呂と、3つの岩盤浴を備え、階ごとにテーマを設けている。

曜日別にイベントを開催し、利用者のニーズに応えている。

◆まとめ◆

和寒町の保養センターは、昭和55年11月に開館した。開館当初、年間利用者は2万人を超えていたが年々減少、近年かわり湯を開催するなど利用者の向上に努力しているものの、施設の老朽化により、今後の運営を考慮しなければならぬ。今我が町に必要なのは単に風呂の無い人の為の風呂ではなく、町民が一日ゆっくり憩える場である。町民だけでなく、近隣市町村からの利用も視野に入れるならば、さら湯ではなく、温泉療法のできる施設というのも考慮すべきである。

視察レポート

何度も訪れたくなるような資料館に

産業教育 常任委員会

テーマ 郷土資料館

視察地 長野県—^{あなん}阿南町、岐阜県—^{かかみがはら}各務原市、^{とみか}富加町

「阿南町風土と生活館」 はどんなところ

江戸時代から使われていた庄屋の8室ある米蔵を活かして、間取りごとにテーマを決め農耕、山仕事、交易、子供の遊びなど生活全般を再現している。隣接地に併設された「農村文化伝承センター」にはホールと、先人の歩みを後世に保存継承に必要な祭りの展示室がありビデオで閲覧できる。また、現在行っている化石探掘体験の標本や、町内の温泉「かじかの湯」で体験できる陶芸品の展示もあった。

「歴史民俗資料館」 木曾川文化資料館」 はどんなところ

地域が木曾川の中州に有るためその歴史は洪水の歴史であった。洪水による水との戦いを乗り越えてきた歴史や川を生活の糧にしていた生活も展示されている。特に鮎魚が盛んで実物



▲富加町郷土資料館

「富加町郷土資料館」 はどんなところ

大の帆掛け船の展示がある。ジオラマ模型の展示、写真展など随時開催している階段ギャラリー、廊下ギャラリーなどスペースを有効利用していた。奈良の正倉院に今も現存する日本最古の戸籍「大宝二年(702年)の御野国加毛群半布里戸籍」のふるさとであり、同時代の村の跡である百棟を超える竪穴式住居や土器が発見されている。平成7年に2億1000万円がふるさと創生資金や地域総合整備債を活用し展示館を建設その後、特別展示室や別館収蔵庫の増築を行っている。観覧無料で学芸員一名、土日はシルバー人材センターに委託している。小学校の総合学習での連携や、講座の受講者を中心に資料館サポーター(謝金なし)の育成をして運営側の活性化を図っている。

◆まとめ◆

和寒町郷土資料館 検討委員会の「和寒町の歴史を将来へ継承して行く為に、新たに整備する必要がある」との方向性が出され、その経過を踏まえて先進地を視察してきた。阿南町は伝統ある祭りの保存伝承、各務原市は木曾川の洪水と生活、富加町は民俗資料や文書書籍資料など各町の特色ある文化・歴史が後世に継承されるよう企画展示など様々な工夫をしていた。本町も町民が何度も足を運ぶ魅力的な展示室や自由に懇談できる施設にしたいかなければならない。

行政報告

※内容は12月定例会時点のものです

産業振興

雨不足等による

作柄への影響

今年は、夏にかけての雨不足など天候不順による影響や8月に発生した局地的集中豪雨により被害を受けられるなど、ご苦労の多い年でありました。

水稲は上川管内の作況指数が105となり、11月末現在の集荷状況は8万6511俵で、前年より3972俵の増となり、畑作については、概ね平年並みの作柄で、昨年は市場価格が低調であった南瓜は、現在のところ順調に推移しているのとことから安堵しています。

米の生産調整

政府は、米の生産調整を、5年後を目途に廃止する方針を打ち出し、大幅な政策転換を行う考えを示しましたが、生産者においては主食用米価の下落の心配や飼料用米の

流通対応など多くの課題もありますので、関係機関と連携して情報の収集を行っていきます。

「わっさむペポナッツ」

ペポナッツのタネを加工し販売するために設立された株式会社和寒シーズは、起業化支援事業補助の申請がなされ、補助金の交付決定により、新たな特産物として今後の農業振興と地域経済の活性化に貢献していくものと期待しています。



新エネルギー

10月から木質バイオマス熱源供給施設を稼働し総合庁舎等の暖房熱供給を行っています。

プレミアム付商品券

「わっさむ活（いきいき）商品券」は、売れ行きも順調とお聞きしており、町民生活の安定と町内の消費拡大が図られ地域経済の活性化に繋がるよう期待しています。



TPP交渉

TPP交渉は農産物関税撤廃の要求に安易に妥協することのないよう政府の強い対応を引き続き求めてまいります。

保健福祉

福祉灯油購入助成

本年度も65歳以上の非課税世帯等に対して、福祉灯油等購入助成事業を実施しました。

ふれあい昼食会

75歳以上の方々を対象とした「ふれあい昼食会」につきましては、第一回目を公民館で、二回目を秩父別町で開催し、昨年を上回る延べ371名が参加され、楽しいひとときを過ごしていただきました。

建設

除排雪事業

除排雪事業については全面民間委託により、きめ細かな作業を行い日常生活に支障を来たさめよう努めます。



デマンドバス

北原線をモデル路線として実施しておりますデマンド方式による冬期間の実証実験は、大きなトラブルもなく順調に運行されており、実用化に向けて検証していきます。

町道バリアフリー化

町道バリアフリー化工事は、計画した7工事1400メートルの改修をほぼ終えました。

住民

町民税

まちづくりの大切な財源であります町税は、収納率は94・2%となり前年をやや下回る結果となりました。

総務

分村100年

大正4年4月1日、剣淵村から分離独立して、和寒村が誕生し、平成27年には数えて100年と

なる記念すべき年を迎えますことから、これまでの先人のご苦労への感謝と今後の町の発展を願い、町民の皆さんとともに「分村100年」を慶び、合つ記念事業を行うべく、進めていきます。

病院

病院利用実績

診療の動向並びに収入状況につきましては、入院、外来とも前年同期を下回る厳しい状況が続いております。

教育

郷土資料館

郷土資料館基本構想の策定につきましては11月7日にその業務委託を発注したところであり、郷土資料館基本構想検討委員会を設置し、恒久的な郷土愛を育む施設としての整備に取り組んでまいります。

Topic
議会

◇上川管内町村議会

議員研修会に参加

10月30日に旭川市で開催された上川管内町村議会議員研修会に参加してきました。

はじめに、「TPP交渉の現状と国民生活への影響」と題し、北海道大学大学院農学研究科 農業経営学研究室の東山寛氏の講演を受け、その後、「激動の政治情勢を読む」と題し、時事通信社特別解説委員の加藤清隆氏の講演を受けました。

1月23日開催

第1回町議会
臨時会

請願

【カントリーエレベーター大規模改修について（審査報告）】
（全員賛成採択）

産業教育常任委員会に付託された本件について、2回の委員会が開催され、請願者からも意見を聴取した結果、本町の農業者の所得維持確保からも採択すべきものと報告がなされ、本請願書は採択となりました。

1月28日開催

第2回町議会
臨時会

人事

【副町長の選任】

（全員賛成同意）
副町長の安孫子敏巳氏が1月31日で任期満了を迎えることから、広富之緒氏（前産業振興課長）を副町長に選任することに同意しました。



広富 之緒 氏

～あなたの声をお聞かせください～

議会傍聴の感想や議会だよりフットサムについてのご意見などを募集しています。

傍聴受付の横に設置していますので、足を運ばれた際にはご協力をお願いいたします。



みんなの声を国政に

公益に関わる次の4件について、議員から意見書案が提出されました。
第4回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

「要支援者に対する介護予防給付継続」と「利用者負担増の中止を求める」意見書

提出者 虻川政義
採決結果 可決（全員賛成）

（要旨）

国の責任で制度の持続可能性と公平性を確保すべきであり、下記の事項を要望する。

1. 要支援者に対する介護予防給付を継続すること。
2. 利用者負担を増やさないこと。
3. 介護保険財政に国が責任を持つこと。

日本型直接支払制度の創設及び経営所得安定対策等の見直しに関する要望意見書

提出者 金谷浩幸
採決結果 可決（全員賛成）

（要旨）

農業・農村地域の担い手である家族農業経営が安心して営農が続けられるよう、下記の事項を要望する。

1. 日本型直接支払制度における、地方自治体の財政負担を改め全額国費で実施すること。
- （他2項目）

平成26年度畜産物価格決定等に関する要望意見書

提出者 中原浩一
採決結果 可決（全員賛成）

（要旨）

酪農・畜産の持続的な発展に向け、下記の事項を要望する。

1. TPP交渉協定における重要5品目などの「聖域」を守るとした国会決議を断固堅持すること。あわせてEPA／FTA交渉においても現行の国境措置を維持すること。

（他6項目）

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

提出者 佐々木広行
採決結果 可決（全員賛成）

（要旨）

「森林・林業基本計画」等に基づき、森林施業の集約化等を進め、森林資源の循環利用による森林・林業の再生推進などが重要であり、下記の事項を要望する。

1. 「地球温暖化対策のための税」の使途に森林吸収源対策を追加するなど、安定的な財源を確保すること。
- （その他6項目）

◆各意見書の詳細についてはホームページ上で公開しています。

<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp> 「トップ画面」⇒「和寒町議会事務局」⇒「議会結果」



町民インタビュー 聞かせて



平成20年から旧中和
小学校を利用し「Time
Design Woodworks
家具工房たいむ」を経営
されている中和の佐藤順
一さんに、お話を聞かせ
てもらいました。

❖ 和寒に來たきっかけ
は？

もともとは剣淵町の家具屋で働いていて、その後独立して工房を構えていたんですけど、手狭になってきたところに、和寒で廃校跡地の利用ができることを知ったからです。

❖ 和寒を選んだ理由はあったんですか？

剣淵から近かったのもありますけど、木材は旭川が安く手に入りやすいんです。関東の方でも手に入るんですけど、北海道から持っていくから値段が高くなってしまいうので、この辺は条件がいいんですよ。

❖ 実際に住んでみての印象は？

市街地にはあまり出ることがないんですけど、お店が多いのはいいですよ。コンビニもありますし。

あと、高速の入口が近

いから仕事の関係では便利です。2時間もあれば札幌までいけますしね。

❖ 趣味はなんですか？

バイクですね。カヌーも持っていますけど、なかなか時間が…。なので、やっぱり天気が良かったらバイクに乗った方がいいです。

❖ 和寒のツーリングの仲間とも、何度も一緒に走っています。

❖ 今後の目標は？

今はオーダーメイドが中心なんですけど、やっぱり直営店を持ちたいですね。札幌とかに自分で作った物を置いて、展示販売という形で。

間に業者を挟んじゃうとどうしても高くなっちゃうんで、直営店でやった方が絶対安く提供もできるんですよ。

❖ 実際はいつになるかわからないですけど。



▲お忙しい中、現在作成中の家具の状況や、作業場・材料置き場も見学させていただきました。（写真は木材置き場）

広報委員の一言

「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」皆さんの新春はいかがでしたか？

元旦に一年の計画を立てられた方は、新年の一步を確実に踏み出されたことでしょうか。

いよいよ2月7日からソチオリンピックの開幕です。23日までの17日間、7競技98種目で金メダルを目指しての戦いが始まります。

4年に一度の大会に日々努力し、代表に選ばれることだけでも素晴らしいことです。

和寒町が生んだ、加藤大平選手の活躍に期待をし、皆さん、共に応援しましょう。

今年はずま年
何事もうまくいくことを願つと共に、本年もよろしくお祈りいたします。

（美恵）